

健康支援

1 概要及び実施状況

1] 特定保健指導

特定保健指導が開始された平成20年4月より、標準的な健診・保健指導プログラムに基づき、実施主体である医療保険者からの委託を受け、「動機づけ支援」及び「積極的支援」を実施している。

今年度は26団体から委託を受け、1,787人（市町で初回面接を実施した25人を含む）の特定保健指導を実施した。

表1 特定保健指導実施状況

	実施者数	終了者数		途中終了者数		支援継続者数(%)	
		評価終了(%)	督促終了*1(%)	脱落*2(%)	資格喪失*3(%)		
動機づけ支援	男	802	673(83.9)	116(14.5)	12(1.5)	1(0.1)	0(0.0)
	女	463	387(83.6)	55(11.9)	17(3.7)	4(0.9)	0(0.0)
積極的支援	男	436	341(78.2)	0(0.0)	91(20.9)	3(0.7)	1(0.2)
	女	86	60(69.8)	1(1.2)	22(25.6)	3(3.5)	0(0.0)
総数	男	1,238	1,014(81.9)	116(9.4)	103(8.3)	4(0.3)	1(0.1)
	女	549	447(81.4)	56(10.2)	39(7.1)	7(1.3)	0(0.0)

表2 動機づけ支援実施状況

	実施者数	終了者数		途中終了者数		支援継続者数(%)	
		評価終了(%)	督促終了*1(%)	脱落*2(%)	資格喪失*3(%)		
国保	男	473	395(83.5)	66(14.0)	12(2.5)	0(0.0)	0(0.0)
	女	312	266(85.3)	27(8.7)	17(5.4)	2(0.6)	0(0.0)
社保	男	329	278(84.5)	50(15.2)	0(0.0)	1(0.3)	0(0.0)
	女	151	121(80.1)	28(18.5)	0(0.0)	2(1.3)	0(0.0)

表3 積極的支援実施状況

	実施者数	終了者数		途中終了者数		支援継続者数(%)	
		評価終了(%)	督促終了*1(%)	脱落*2(%)	資格喪失*3(%)		
国保	男	161	106(65.8)	0(0.0)	54(33.5)	1(0.6)	0(0.0)
	女	48	33(68.8)	1(2.1)	13(27.1)	1(2.1)	0(0.0)
社保	男	275	235(85.5)	0(0.0)	37(13.5)	2(0.7)	1(0.4)
	女	38	27(71.1)	0(0.0)	9(23.7)	2(5.3)	0(0.0)

*1督促終了とは、半年後の評価ができず、度重なる督促をもって終了した者

*2脱落とは、最終利用日から未利用のまま2ヶ月経過した者や支援途中で服薬開始となった者等

*3資格喪失とは、退職等により保険が変更になった者

2] 専門職の派遣、健康教育等の受託

市町等からの委託を受け、8団体に対して193日派遣した。また、健康教育等は10団体から依頼を受け、15日実施した。その他、健康に関する啓発イベントに協力した。

表4 実施状況

		実施 団体数	実施回数	職種別派遣回数		
				保健師	管理栄養士	健康運動 指導士
専門職の派遣	地域	5	188	136	0	53
	職域	3	5	9	0	0
	学域	0	-	-	-	-
健康教育の 受託	地域	1	2	2	2	0
	職域	8	12	12	6	7
	学域	1	1	0	0	1
啓発イベント		2	2	2	0	0

3] 健診データ等の統計・解析の実施

地域・職域診断サービスシステムを用いた健診結果報告書を25団体に提供した。また、そのうち18団体に対して個別に結果説明を実施した。

表5 地域・職域診断サービス健診結果報告書件数

	作成団体数	結果説明実施団体数
地域	14	11
職域	11	7
総数	25	18

4] 至急精検対象者への受診勧奨

集団健診受診後、至急の精密検査が必要な方に対し、受診団体の保健師や衛生管理者等と連絡体制をとっている。平成29年度は延べ487人が対象となり、がん検診では215人が対象となった。

表6 至急精検連絡件数

	胃がん	胸部	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん	その他*	総数
地域	15	68	4	88	4	45	224
職域	2	23	0	11	0	24	60
学域	-	5	-	-	-	198	203
総数	17	96	4	99	4	267	487

*血圧・心電図・血液など（学域健診は腎臓検診を含む）

5] 発見がん追跡調査

平成28年度に集団健診や人間ドックを受け、精密検査が必要になった受診者のうち、市町や医療機関から送付された精密検査結果連絡票に、「がん」または「がんの疑い」と診断された方について、確定診断の状況（病理、組織、形態学的）の調査を実施した。なお、調査内容は各がん取り扱い規約に基づき実施した。

表7 集団検診

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん
調査件数	94	119	154	79	154	513
回収件数	87	109	142	73	146	489
回収率(%)	(92.6)	(91.6)	(92.2)	(92.4)	(94.8)	(95.3)

表8 人間ドック

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	子宮体がん	乳がん	前立腺がん	腹部超音波	食道がん	甲状腺がん
調査件数	6	8	7	4	1	13	14	7	3	2
回収件数	5	8	7	4	1	13	13	6	3	2
回収率(%)	(83.3)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(92.3)	(85.7)	(100.0)	(100.0)

6] 健康相談センター

平成29年度は175人から203件の相談があった。平成28年度同様、「検査所見の説明」と「医療機関の紹介」についての相談が多かった。

表9 相談の詳細内容と件数

	件数（延べ）
検査所見の説明	67
医療機関紹介	64
検査内容	7
生活習慣アドバイス	10
その他	55
総数	203

7] 東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究への協力

福島第一原発において緊急作業に従事した作業員に対し、長期にわたる健康影響を明らかにする目的で平成26年度から公益財団法人放射線影響研究所が疫学的研究を開始した（厚生労働省補助事業）。当事業団では、県内対象者のうち49名に健康診査を実施した。